

【 学 部 編 】

I	ポリシー	
1	ディプロマ・ポリシー	学部 1
2	カリキュラム・ポリシー	学部 2
II	卒業要件単位数（詳細）	
1	卒業要件単位数（詳細）	学部 4
III	学科独自の制度	
1	単位認定の対象となる検定試験等とその認定基準について	学部 5
IV	科目分類番号	
1	科目分類番号について	学部 6
V	共通教育科目等の課程表	
1	共通教育科目等 課程表	学部 7
VI	専門教育科目のカリキュラム・ツリーおよび課程表	
1	カリキュラム・ツリー	学部 17
2	国際情報学科 グローバルスタディーズコース 課程表	学部 18
3	国際情報学科 メディアスタディーズコース 課程表	学部 21
VII	教免取得に関する教育課程表	
1	中高免教職課程について	学部 24

1 ディプロマ・ポリシー

ディプロマ・ポリシーとは金城学院大学の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認め、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学修成果の目標となるものです。

〔1〕金城学院大学

金城学院大学は、福音主義のキリスト教に基づき、学校教育法にのっとり、女性に広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、もって真理と正義を愛し、世界の平和と人類の福祉に貢献する人物を養成することを目的としています。教育スローガン「強く、優しく。」は、主体性を持ってものごとを成し遂げ、学んだ広い知識を人生の場で生かせる「強さ」、まわりの人々の気持ちを理解し、協働していく「優しさ」を兼ね備えることを意味します。

本学では、上記の建学の精神を踏まえた教育目標の実現を目指し、次の資質・能力を身につけ総合的に活用できる学生に学位を授与します。

1. 知識・理解

- (1) 多様な文化を理解するとともに、豊かな人間性を支える教養と深い専門的知識を身につけている。

2. 汎用的技能

- (2) 情報を適正に収集・分析し、色々な角度から論理的に考えることで問題を発見し、解決を図ることができる。
- (3) 日本語をはじめ外国語や種々の表現方法を修得し、多様な人々とコミュニケーションをとることができる。

3. 態度・志向性

- (4) 自らを律し、他者と協働して目標の実現のために行動できるとともに、向上心を持って学び続けることができる。
- (5) 福音主義キリスト教に基づいた倫理観により、隣人のため社会のために主体的に行動し、貢献することができる。

4. 統合的な学修経験と創造的思考力

- (6) これまでに修得した知識・技能・態度等を総合的に活用して、新たな課題に取り組むことができる。

〔2〕国際情報学部国際情報学科

国際情報学科では、大学のディプロマ・ポリシーに基づき、グローバル化と情報化が進む現代社会に関する専門的知識・技能を修得し、次の資質・能力を身につけ総合的に活用できる学生に学位を授与します。

1. 知識・理解

- (1) グローバル化と情報化が進む現代社会の仕組みを理解するとともに、豊かな人間性を支える教養と深い専門的知識を身につけている。

2. 汎用的技能

- (2) 現代社会の問題点を、社会科学的研究方法や情報リテラシーを駆使しつつ、世界的な視野から分析・考察することができる。
- (3) 言語（日本語・外国語）に加え、音声・映像媒体、行動といった多様な表現方法によって自らの考えを適切に他者に伝えることができる。

3. 態度・志向性

- (4) 自らを律し、互いの力を生かし合う協調型リーダーシップを発揮しながら行動できるとともに、向上心を持って学び続けることができる。
- (5) 福音主義キリスト教に基づいた倫理観により、隣人のため社会のために主体的に行動し、貢献することができる。

4. 統合的な学修経験と創造的思考力

- (6) これまでに修得した知識・技能・態度等を総合的に活用して、新たな課題に取り組むことができる。

2 カリキュラム・ポリシー

カリキュラム・ポリシーとはディプロマ・ポリシーの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針です。

〔1〕金城学院大学

金城学院大学は、福音主義のキリスト教に基づき、学校教育法にのっとり、女性に広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、もって真理と正義を愛し、世界の平和と人類の福祉に貢献する人物を養成することを目的としています。教育スローガン「強く、優しく。」は、主体性を持ってものごとを成し遂げ、学んだ広い知識を人生の場で生かせる「強さ」、まわりの人々の気持ちを理解し、協働していく「優しさ」を兼ね備えることを意味します。

本学では、上記の建学の精神を踏まえた教育目標の実現を目指し、学生が卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる資質・能力を獲得できるように、共通教育科目、専門教育科目及びその他必要とする科目を順次性を考慮して体系的に配置し、講義、演習、実験、実習および実技を適切に組み合わせたカリキュラムを編成します。課程表の他に、カリキュラムの体系性を示すカリキュラム・マップ及びカリキュラム・ツリー、科目間の関連や科目内容のレベルを表現する科目分類番号制を採用し、カリキュラムの構造を分かりやすく示します。

教育内容、教育方法、評価について次のように定めます。

1. 教育内容

- (1) 共通教育科目では、学生が福音主義のキリスト教に基づき、豊かな人間性を支える知識・技能、汎用的技能・能力、態度・志向性の基礎を身につけられるようにします。共通教育科目は、建学の精神に基づく「金城アイデンティティ科目」、本学の教育の核である英語教育及び外国語教育、キャリア教育からなる「金城コア科目」、幅広い教養を身につける「金城展開科目」の下、授業を編成します。
- (2) 初年次教育では、学生が効果的に大学で学修し順調な学生生活を送るために、高校から大学の学びに円滑に移行できるようにします。

共通教育科目における初年次教育では、学部学科の枠を超えて学問や大学教育全般に対する動機づけを図ります。

専門教育科目における初年次教育では、学科の専門性を踏まえた種々の表現方法のスキル向上、多角的に考える力の向上を図ります。

- (3) 専門教育科目では、学生が専門分野の知識・技能を身につけることを通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を獲得できるようにします。専門分野の体系性に基づき、適切な内容の授業を編成します。
- (4) 学生が専門教育科目を中心とする教育内容を総合化し活用できるように、卒業年次に卒業研究等を実施します。

2. 教育方法

- (5) 講義科目においては履修者上限人数を原則120名とし、アクティブ・ラーニング等を取り入れた教育方法を実施します。
- (6) 演習科目においては、少人数できめ細やかな指導を実践し、ディープ・アクティブ・ラーニング等を取り入れた教育方法を実施します。
- (7) 実験・実習および実技科目においては、知識や技能を身につけ、思考力を養うプログラムを編成して実施します。
- (8) すべての授業科目において授業時間外学修を課し、学生の学修成果を高めるようなフィードバックに努めます。
- (9) アドバイザー制度により、学生情報を活用しながらアドバイザー教員が学生一人ひとりと面談し、学修支援をはじめ学生生活全般に関する助言を行います。

3. 評価

- (10) 本学では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げられた資質・能力およびこれらの総合的な活用力を確実に身につけられるように、大学レベル、学科レベル、学生レベルで評価を実施します。

- (11) 学修成果の評価の公平性と透明性を確保するために、達成すべき質的水準及び具体的な実施方法などに関する学修成果の評価方針（アセスメント・ポリシー）を別に定めます。

〔2〕国際情報学部国際情報学科

国際情報学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を獲得できるように、共通教育科目、専門教育科目およびその他必要とする科目を順次性を考慮して体系的に配置し、講義、演習、実習を適切に組み合わせたカリキュラムを編成します。課程表の他に、カリキュラムの体系性を示すカリキュラム・マップおよびカリキュラム・ツリー、科目間の関連や科目内容のレベルを表現する科目分類番号制を採用し、カリキュラムの構造を分かりやすく示します。

教育内容、教育方法、評価について次のように定めます。

1. 教育内容

- (1) 共通教育科目では、学生が福音主義のキリスト教に基づき、豊かな人間性を支える知識・技能、汎用的技能・能力、態度・志向性の基礎を身につけられるようにします。具体的には「金城アイデンティティ科目」、「金城コア科目」、「金城展開科目」の区分に基づいた科目を編成します。
- (2) 初年次教育では、学生が効果的に大学で学修し順調な学生生活を送るために、高校から大学の学びに円滑に移行できるようにします。

共通教育科目における初年次教育では、学部学科の枠を超えて学問や大学教育全般に対する動機づけを図ります。

専門教育科目における初年次教育では、入門的な講義科目と協働的な学修を行う演習科目を組み合わせることで、現代社会を読み解くための基礎的知識の修得および協調性・表現能力・論理的思考力の向上を図ります。

- (3) 専門教育科目では、学生が現代社会のグローバル化と情報化に関する知識・技能を身につけることを通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を獲得できるようにします。
- (4) 学生が社会科学の共通基盤を身につけられるように、「基幹科目」を設置し、社会人として通用する知識・技能を修得できるよう科目を編成します。
- (5) グローバル化と情報化の問題点と可能性への理解を深めるため、「展開科目」を設置し、多角的な研究方法と情報リテラシーを用いて分析・考察できるよう科目を編成します。また「展開科目」には、少人数の実践的な学修を通じてリーダーシップを養う科目を設置します。
- (6) 学生が修得した知識・技能を総合的に活用できるように「演習科目」を編成します。
- (7) 学生が専門教育科目を中心とする学修内容を総合化し活用・研究できるように、卒業年次に「卒業論文・卒業制作」を設置します。

2. 教育方法

- (8) 講義科目においては履修者上限人数を原則120名とし、アクティブ・ラーニング等を取り入れた教育方法を実施します。
- (9) 演習科目においては、少人数できめ細やかな指導を実践し、ディープ・アクティブ・ラーニング等を取り入れた教育方法を実施します。
- (10) 実習科目においては、体験を通して知識・技能を身につけ、柔軟な思考力を養うプログラムを編成して実施します。
- (11) すべての授業科目において授業時間外学修を課し、学生の学修成果を高めるようなフィードバックに努めます。
- (12) アドバイザー制度により、学生情報を活用しながらアドバイザー教員が学生一人ひとりと面談し、学修支援をはじめ学生生活全般に関する助言を行います。

3. 評価

- (13) 本学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げられた資質・能力およびこれらの総合的な活用力を確実に身につけられるように、学科レベル、学生レベルで評価を実施します。
- (14) 学修成果の評価の公平性と透明性を確保するために、学修成果の評価方針（アセスメント・ポリシー）を定めます。

1 卒業要件単位数（詳細）

科目名の★は必修

			グローバル スタディーズ コース	メディア スタディーズ コース
卒業要件			124 (単位)	124 (単位)
共通教育科目			30	30
必修	①キリスト教	キリスト教学(1)	★ 2	2
		キリスト教学(2)	★ 2	2
	④英語教育科目	英語コミュニケーションA(1)	★ 1	1
		英語コミュニケーションA(2)	★ 1	1
		英語コミュニケーションB(1)	★ 1	1
		英語コミュニケーションB(2)	★ 1	1
		英語コミュニケーションC(1)	★ 1	1
		英語コミュニケーションC(2)	★ 1	1
		英語コミュニケーションD(1)	★ 1	1
		英語コミュニケーションD(2)	★ 1	1
	⑥キャリア開発教育科目	キャリア開発A	★ 2	2
キャリア開発B		★ 1	1	
女性みらい		★ 1	1	
⑧情報教育科目	情報リテラシー	★ 2	2	
⑨S&E教育科目	スポーツ・アンド・エクササイズ講義	★ 1	1	
選択必修A	①キリスト教 ②女性 ③国際理解	①～③の3テーマから1科目選択 （「キリスト教学(1)」、「キリスト教学(2)」を除く）	2	2
	⑦教養科目		4	4
	⑨S&E教育科目から1科目選択（「スポーツ・アンド・エクササイズ講義」、「スポーツ・アンド・エクササイズH」を除く）		1	1
選択必修B	①キリスト教 ②女性 ③国際理解	（「キリスト教学(1)、(2)」、選択必修Aでの履修科目を除く）	4	4
	④英語教育科目（「英語コミュニケーションA～D」を除く）			
	⑤外国語教育科目			
	⑥キャリア開発教育科目（「キャリア開発A、B」、「女性みらい」を除く）			
	⑦教養科目（選択必修Aでの履修科目を除く）			
	⑧情報教育科目（「情報リテラシー」を除く）			
	⑨S&E教育科目（「スポーツ・アンド・エクササイズH」）			
	⑩学生プロジェクト科目			
	⑪海外研修科目			
	専門教育科目			
基幹科目			8	8
展開科目	①国際社会	＊グローバルスタディーズコース ①～⑤から42単位、⑥～⑨から12単位。 ＊メディアスタディーズコース ⑤～⑨から42単位、①～④から12単位。	54	54
	②地域研究			
	③現代社会			
	④国際ビジネス			
	⑤女性リーダーシップ			
	⑥広告ビジネス			
	⑦マスコミ・映像			
	⑧デザイン			
	⑨情報技術			
演習			6	6
卒業論文・卒業制作			4	4
自由履修			22	22

1 単位認定の対象となる検定試験等とその認定基準について

外国語検定試験等の合格または成果に係る学修のうち、国際情報学科の「英語」に関する認定基準表は下表のとおりです。

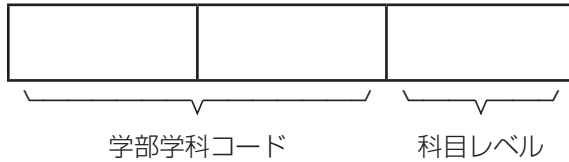
注意：認定授業科目を複数の検定試験等で認定する場合は、成績区分の上位の検定試験等で認定されます。

試験の種類	成績区分	認定授業科目	単位認定数
実用英語技能 検定試験 (英検)	2級	Business English A	2単位
	準1級	Business English A、B、C	6単位
	1級	Business English A、B、C、D	8単位
TOEFL ITP	450～480点	Business English A	2単位
	481～510点	Business English A、B	4単位
	511～550点	Business English A、B、C	6単位
	551点以上	Business English A、B、C、D	8単位
TOEFL iBT	45～55点	Business English A	2単位
	56～64点	Business English A、B	4単位
	65～79点	Business English A、B、C	6単位
	80点以上	Business English A、B、C、D	8単位
TOEIC Listening & Reading Test (TOEIC L&R)	470～560点	Business English A	2単位
	561～650点	Business English A、B	4単位
TOEIC Listening & Reading Test IP (TOEIC L&R IP)	651～750点	Business English A、B、C	6単位
	751点以上	Business English A、B、C、D	8単位

- 備考：1 認定科目の選択は、単位修得状況・履修状況に応じて教務委員が行います。
- 2 【別表】の認定基準により「外国語検定（英語コミュニケーションA、B、C、D）」に認定することができます。ただし、共通教育科目と専門教育科目を同時に認定することはありません。
- 3 TOEIC L&R、L&R IP 等については、オンライン受験の場合、単位認定ができない場合があります。事前にお問い合わせください。

1 科目分類番号について

科目分類番号は数字3桁でカリキュラムにおける当該科目の位置づけを示したものです。履修の際の参考にしてください。



学部学科コード

共通教育：10

国際情報学部国際情報学科共通：50

グローバルスタディーズ：51

メディアスタディーズ：52

科目レベル

入門：1 科目内容レベルが導入もしくは入門に位置づけられる科目

基礎：2 主に基礎として学ぶべき科目等

発展：3 応用や発展の内容を含む科目等

※科目分類番号と開講基準年次は違います。例えば3桁目のレベルが3に設定されていても、開講基準年次が1年次に設定されていれば1年生でも履修できます。反対にレベルが1や2に設定されていても開講基準年次が3年次になっていれば1・2年生は履修することができません。

1 共通教育科目等 課程表

科目名の★は必修、■は選択必修

科目区分	授業科目	副題・内容	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
I 金城アイデンティティ科目	①キリスト教	キリスト教 学(1) ★	101	2			
		キリスト教 学(2) ★	101	2			
		キリスト教 学(3) ■	102		2		
		キリスト教 学(4) ■	102		2		
		聖書の読み方 ■	101	2			
		現代世界とキリスト教 ■	101	2			
		医療とキリスト教精神 ■	101	2			
		福祉とキリスト教 ■	101	2			
		キリスト教文化学入門 ■	101	2			
	②女性	いのち・こころ ■	101	2			
		聖書の女性観 ■	101	2			
		歴史の中の女性 ■	101	2			
		世界の女性問題 ■	101	2			
		福祉と女性 ■	101	2			
		女性と文学 ■	101	2			
		男女共同参画社会 ■	101	2			
	③国際理解	性差の科学 ■	101	2			
		世界の多様な文化 ■	101	2			
		世界の社会問題 ■	101	2			
		多文化共生社会 ■	101	2			
Topics in Comparative Culture ■		101	2				
Topics in Contemporary Japan ■		101	2				
異文化コミュニケーション ■	101	2					

科目 区分	授 業 科 目	副 題 ・ 内 容	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数						
				1年	2年	3年	4年			
II 金城コア科目	④ 英語教育科目	英語コミュニケーションA (1) ★	Speaking ・ Writing	101	1					
		英語コミュニケーションA (2) ★	Speaking ・ Writing	101	1					
		英語コミュニケーションB (1) ★	CALL ・ Reading	101	1					
		英語コミュニケーションB (2) ★	CALL ・ Reading	101	1					
		英語コミュニケーションC (1) ★	Speaking ・ Presentation	102		1				
		英語コミュニケーションC (2) ★	Speaking ・ Presentation	102		1				
		英語コミュニケーションD (1) ★	Reading ・ Listening	102		1				
		英語コミュニケーションD (2) ★	Reading ・ Listening	102		1				
		英語コミュニケーションE (1) ■	Integrated English (総合英語)	103		1				
		英語コミュニケーションE (2) ■	Integrated English (総合英語)	103		1				
		英語コミュニケーションF ■	検定試験対策 (TOEIC L&R 対策)	103		1				
		英語コミュニケーションG ■	検定試験対策 (TOEIC L&R 対策)	103		1				
		II 金城コア科目	⑤ 外国語教育科目	ド イ ツ 語 (1) ■	初級1 (主として日本語による文法・読解の授業)	101	1			
				ド イ ツ 語 (2) ■	初級2 (主として日本語による文法・読解の授業)	101	1			
ド イ ツ 語 (3) ■	初級3 (主として日本語による文法・読解の授業)			102		1				
ド イ ツ 語 (4) ■	初級4 (主として日本語による文法・読解の授業)			102		1				
ド イ ツ 語 会 話 (1) ■	初級1 (主としてドイツ語を用いる会話の授業)			101	1					
ド イ ツ 語 会 話 (2) ■	初級2 (主としてドイツ語を用いる会話の授業)			101	1					
ド イ ツ 語 会 話 (3) ■	初級3 (主としてドイツ語を用いる会話の授業)			102		1				
ド イ ツ 語 会 話 (4) ■	初級4 (主としてドイツ語を用いる会話の授業)			102		1				
フ ラ ン ス 語 (1) ■	初級1 (主として日本語による文法・読解の授業)			101	1					
フ ラ ン ス 語 (2) ■	初級2 (主として日本語による文法・読解の授業)			101	1					
フ ラ ン ス 語 (3) ■	初級3 (主として日本語による文法・読解の授業)			102		1				
フ ラ ン ス 語 (4) ■	初級4 (主として日本語による文法・読解の授業)			102		1				

科目 区分	授 業 科 目	副 題 ・ 内 容	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
II 金城コア科目 ⑤外国語教育科目	フランス語会話(1)	初級1 (主としてフランス語を用いる会話の授業)	101	1			
	フランス語会話(2)	初級2 (主としてフランス語を用いる会話の授業)	101	1			
	フランス語会話(3)	初級3 (主としてフランス語を用いる会話の授業)	102		1		
	フランス語会話(4)	初級4 (主としてフランス語を用いる会話の授業)	102		1		
	スペイン語(1)	初級1 (主として日本語による文法・読解の授業)	101	1			
	スペイン語(2)	初級2 (主として日本語による文法・読解の授業)	101	1			
	スペイン語(3)	初級3 (主として日本語による文法・読解の授業)	102		1		
	スペイン語(4)	初級4 (主として日本語による文法・読解の授業)	102		1		
	スペイン語会話(1)	初級1 (主としてスペイン語を用いる会話の授業)	101	1			
	スペイン語会話(2)	初級2 (主としてスペイン語を用いる会話の授業)	101	1			
	スペイン語会話(3)	初級3 (主としてスペイン語を用いる会話の授業)	102		1		
	スペイン語会話(4)	初級4 (主としてスペイン語を用いる会話の授業)	102		1		
	中国語(1)	初級1 (主として日本語による文法・読解の授業)	101	1			
	中国語(2)	初級2 (主として日本語による文法・読解の授業)	101	1			
	中国語(3)	初級3 (主として日本語による文法・読解の授業)	102		1		
	中国語(4)	初級4 (主として日本語による文法・読解の授業)	102		1		
	中国語会話(1)	初級1 (主として中国語を用いる会話の授業)	101	1			
	中国語会話(2)	初級2 (主として中国語を用いる会話の授業)	101	1			
	中国語会話(3)	初級3 (主として中国語を用いる会話の授業)	102		1		
	中国語会話(4)	初級4 (主として中国語を用いる会話の授業)	102		1		
韓国・朝鮮語(1)	初級1 (主として日本語による文法・読解の授業)	101	1				
韓国・朝鮮語(2)	初級2 (主として日本語による文法・読解の授業)	101	1				
韓国・朝鮮語(3)	初級3 (主として日本語による文法・読解の授業)	102		1			
韓国・朝鮮語(4)	初級4 (主として日本語による文法・読解の授業)	102		1			

科目区分	授業科目	副題・内容	科目分類番号	開講基準年次及び単位数				
				1年	2年	3年	4年	
II 金城コア科目	⑤ 外国語教育科目	韓国・朝鮮語会話(1) ■	初級1 (主として韓国・朝鮮語を用いる会話の授業)	101	1			
		韓国・朝鮮語会話(2) ■	初級2 (主として韓国・朝鮮語を用いる会話の授業)	101	1			
		韓国・朝鮮語会話(3) ■	初級3 (主として韓国・朝鮮語を用いる会話の授業)	102		1		
		韓国・朝鮮語会話(4) ■	初級4 (主として韓国・朝鮮語を用いる会話の授業)	102		1		
	⑥ キャリア開発教育科目	キャリア開発 A ★	キャリア開発の意義と方法	101	2			
		キャリア開発 B ★	マナー&コミュニケーション	101	1			
		キャリア開発 C ■	自分らしい生き方を設計する	102		2		
		キャリア開発 D ■	いきいき働く女性たち	102		2		
		キャリア開発 E ■	企業のトップに学ぶキャリアの本当の意味	103			2	
		キャリア開発 F ■	将来の仕事を考える	103			2	
		キャリア開発 G (1) ■	インターンシップ準備	102		2		
		キャリア開発 G (2) ■	インターンシップ	103			2	
		女性みらい ★	女性の心身の健康	101	1			
	III 金城展開科目	⑦ 教養科目	文学 A ■	日本文学論	101	2		
			文学 B ■	西洋文学論	101	2		
			文学 C ■	文学とキリスト教	101	2		
			史学 A ■	日本史入門	101	2		
			史学 B ■	西洋史入門	101	2		
			史学 C ■	現代世界の形成	101	2		
哲学 A ■			東洋哲学	101	2			
哲学 B ■			西洋哲学	101	2			
倫理学 A ■			倫理学入門	101	2			
倫理学 B ■			いのちの倫理	101	2			

科目区分	授業科目	副題・内容	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
Ⅲ 金城展開科目	⑦教養科目	地域研究 A ■	日本文化論	101	2		
		地域研究 B ■	英語圏の生活と文化	101	2		
		地域研究 C ■	ヨーロッパの生活と文化	101	2		
		地域研究 D ■	アジアの生活と文化	101	2		
		地 理 ■	日本地理	101	2		
		文化人類学 ■	文化人類学入門	101	2		
		宗 教 学 ■	キリスト教と日本	101	2		
		日 本 語 学 ■	日本語学入門	101	2		
		日 本 語 表 現 ■	実践日本語	101	2		
		ロジカルシンキング ■	ロジカルシンキング入門	101	2		
		芸 術 ・ 音 楽 A ■	西洋音楽史入門	101	2		
		芸 術 ・ 音 楽 B ■	西洋音楽鑑賞入門	101	2		
		芸 術 ・ 音 楽 C ■	音楽とキリスト教	101	2		
		芸 術 ・ 音 楽 D ■	ハンドベル入門	101	1		
		芸 術 ・ 美 術 A ■	日本美術史	101	2		
		芸 術 ・ 美 術 B ■	西洋美術史	101	2		
		芸 術 ・ 美 術 C ■	美術とキリスト教	101	2		
		法 学 ■	法学入門	101	2		
		日 本 国 憲 法 ■	日本国憲法の理解	101	2		
		政 治 学 ■	政治と行政	101	2		
		平 和 学 ■	平和学入門	101	2		
		経 済 学 ■	経済学入門	101	2		
		経 営 学 A ■	経営学入門	101	2		
経 営 学 B ■	マーケティング入門	101	2				

科目 区分	授 業 科 目	副 題 ・ 内 容	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
Ⅲ 金城展開科目 ⑦教養科目	社 会 学 A ■	社会学入門	101	2			
	社 会 学 B ■	消費社会論	101	2			
	名 古 屋 学 ■	名古屋の魅力	101	2			
	心 理 学 A ■	社会心理学	101	2			
	心 理 学 B ■	発達心理学	101	2			
	心 理 学 C ■	臨床心理学	101	2			
	生 活 科 学 A ■	生活と科学	101	2			
	生 活 科 学 B ■	健康とサプリメント	101	2			
	生 活 科 学 C ■	化粧品学入門	101	2			
	衣 生 活 学 A ■	生活と衣服	101	2			
	衣 生 活 学 B ■	生活とテキスタイル	101	2			
	食 生 活 学 ■	食品栄養学	101	2			
	住 生 活 学 ■	生活と住まい	101	2			
	健 康 科 学 ■	健康科学入門	101	2			
	生 物 学 A ■	生物学入門	101	2			
	生 物 学 B ■	生命科学入門	101	2			
	環 境 学 ■	環境学入門	101	2			
	数 学 ■	数学入門	101	2			
	統 計 科 学 ■	統計学入門	101	2			
	情 報 学 ■	情報学入門	101	2			
	薬 学 ■	女性のための薬学入門	101	2			
	教 職 入 門 ■	教職の意義と役割	101	2			
	学 校 と 教 育 の 歴 史 ■	教育の歴史と思想	101	2			
発 達 と 学 習 ■	子どもの発達と学習過程	101	2				

※「大学での学び」は高大接続連携授業において履修する科目であり、入学後の履修はできません。

※「スポーツ・アンド・エクササイズH」の修得単位は、選択必修Aには含まれません。

科目 区分	授 業 科 目	副 題 ・ 内 容	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
⑦教養科目	教 育 相 談 ■	学校における心のケア	101	2			
	大 学 で の 学 び ■ ※履修不可	高大接続連携授業	-	1			
⑧情報教育科目	情 報 リ テ ラ シ ー ★	コンピュータ力を身につける	101	2			
	I T 活 用 A ■	3次元コンピュータ・グラフィックス	102	2			
	I T 活 用 B ■	動画作成編集	102	2			
	I T 活 用 C ■	プログラミング入門	102	2			
	I T 活 用 D ■	Web ページデザイン	102	2			
	I T 活 用 E ■	コンピュータ統計入門	102	2			
	I T 活 用 F ■	デスクトップ・パブリッシング	102	2			
	I T 活 用 G ■	コンピュータ・デザイン	102	2			
	I T 活 用 H ■ 国際情報学科は履修不可	コンピュータと薬学	102	2			
	⑨S&E教育科目	スポーツ・アンド・エクササイズA ■	テニスとゴルフ	101	1		
スポーツ・アンド・エクササイズB ■		バドミントンとライトスポーツ	101	1			
スポーツ・アンド・エクササイズC ■		卓球とフィットネスA (ヨガ・太極拳など)	101	1			
スポーツ・アンド・エクササイズD ■		フィットネスB (体カトレーニング・ストレッチなど) と卓球	101	1			
スポーツ・アンド・エクササイズE ■		ゴルフとバドミントン	101	1			
スポーツ・アンド・エクササイズF ■		ライトスポーツとテニス	101	1			
スポーツ・アンド・エクササイズG ■		ライトスポーツ	101		1		
スポーツ・アンド・エクササイズH ■		ヘルシーエクササイズ	102			1	
スポーツ・アンド・エクササイズ講義 ★		スポーツと健康	102		1		

※修得単位について…実践ビジネス英語A～E、海外ビジネス研修の修得単位については、自由履修の単位に含まれます。

科目 区分	授 業 科 目	副 題 ・ 内 容	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
Ⅲ 金城展開科目	⑩学生プロジェクト科目	キャリアプロジェクト ■	社会に参加する	103	2		
		里山プロジェクト ■	里山から見る日本の姿	103	2		
		KIDSセンタープロジェクト ■	KIDSセンター活動に参加する	103	2		
		ボランティアプロジェクト ■	ボランティアを实践する	103	2		
		訪問演奏プロジェクト ■	慰問演奏を行おう	103	2		
	⑪海外研修科目	海外研修 A ■	北米	103	2		
		海外研修 B ■	イギリス	103	2		
		海外研修 C ■	オーストラリア	103	2		
		海外研修 D ■	中国	103	2		
		海外研修 E ■	その他の地域	103	2		
		海外留学準備講座 ■	留学への心構えや留学先の文化・社会的背景を学ぶ	101	1		
	⑫実践ビジネス英語科目	実践ビジネス英語 A 選抜者以外は履修不可	TOEIC L&R 550以上を目指す	103	1		
		実践ビジネス英語 B 選抜者以外は履修不可	TOEIC L&R 600以上を目指す	103	1		
		実践ビジネス英語 C 選抜者以外は履修不可	TOEIC L&R 650以上を目指す	103		1	
		実践ビジネス英語 D 選抜者以外は履修不可	TOEIC L&R 700以上を目指す	103			1
実践ビジネス英語 E 選抜者以外は履修不可		英語のレポート作成方法を学ぶ	103			1	
海外ビジネス研修 選抜者以外は履修不可		カナダでビジネスコミュニケーションを学ぶ	103		1		

各教科の指導法・教育の基礎的理解に関する科目等(中・高・栄養免許)

授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
国 語 科 指 導 法 A	102		4		
国 語 科 指 導 法 B	102		2		
国 語 科 指 導 法 C	102		2		
社会科・地理歴史科指導法A	102		2		
社会科・地理歴史科指導法B	102		2		
社会科・公民科指導法A	102		2		
社会科・公民科指導法B	102		2		
理 科 指 導 法 A	102		4		
理 科 指 導 法 B	102		2		
理 科 指 導 法 C	102		2		
音 楽 科 指 導 法 A	102		4		
音 楽 科 指 導 法 B	102		2		
音 楽 科 指 導 法 C	102		2		
家 庭 科 指 導 法 A	102		4		
家 庭 科 指 導 法 B	102		2		
家 庭 科 指 導 法 C	102		2		
英 語 科 指 導 法 A	102		4		
英 語 科 指 導 法 B	102		2		
英 語 科 指 導 法 C	102		2		
書 道 科 指 導 法	102		4		
情 報 科 指 導 法	102		4		
福 祉 科 指 導 法	102		4		

授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
学 校 と 教 育 の 歴 史	101	2			
教 職 入 門	101	2			
教 育 社 会 学	102		2		
発 達 と 学 習	101	2			
特別支援教育の理論と方法	102		2		
教 育 課 程 論	102			2	
道徳教育の理論と方法	102			2	
総合的な学習の時間の指導法	102		2		
特別活動の指導法	102			2	
教育の方法及び 情報通信技術の活用	102		2		
生徒・進路指導と キャリア教育の理論と方法	102			2	
教 育 相 談	101	2			
教 育 実 習 A	103				5
教 育 実 習 B	103				3
教職実践演習(中高)	103				2
教職実践演習(栄養教諭)	103				2

日本語科目・日本事情に関する科目

外国人留学生以外で履修を希望する場合は、
国際交流センターに問い合わせてください。

科目区分	授 業 科 目	科目分類 番号	単位数
日本語科目	日 本 語 2 1 1	102	1
	日 本 語 2 1 2	102	1
	日 本 語 2 1 3	102	1
	日 本 語 2 1 4	102	1
	日 本 語 2 1 5	102	1
	日 本 語 2 2 1	102	1
	日 本 語 2 2 2	102	1
	日 本 語 2 2 3	102	1
	日 本 語 2 2 4	102	1
	日 本 語 2 2 5	102	1
	日 本 語 3 1 1	103	1
	日 本 語 3 1 2	103	1
	日 本 語 3 1 3	103	1
	日 本 語 3 1 4	103	1
	日 本 語 3 1 5	103	1
	日 本 語 3 2 1	103	1
	日 本 語 3 2 2	103	1
	日 本 語 3 2 3	103	1
	日 本 語 3 2 4	103	1
	日 本 語 3 2 5	103	1
	日 本 語 4 1 1	103	1
	日 本 語 4 1 2	103	1
	日 本 語 4 2 1	103	1
	日 本 語 4 2 2	103	1

科目区分	授 業 科 目	科目分類 番号	単位数
日本事情に関する科目	日 本 事 情 A	102	2
	日 本 事 情 B	102	2
	日 本 事 情 C	102	2
	日 本 事 情 D	102	2
	インディペンデント・スタディ	103	2

1 カリキュラム・ツリー

カリキュラム・ツリーとは、専門教育科目のカリキュラムにおいて、学生が卒業までに身につけるべき知識・能力を得るための授業科目が、どのように配置されているか、各授業科目の関連性を系統図的に可視化したものです。カリキュラムの年次進行、授業科目間のつながりなど、カリキュラムの体系性が一望できるようになっています。

国際情報学科

青字は必修科目

		1 年	2 年	3 年	4 年
基幹科目		国際情報概論 WLI A WLI B KIT (1) KIT (2)	KIT (3) 海外キャリアトレーニング(1)	KIT (4) 海外キャリアトレーニング(2)	
展開科目	国際社会	異文化体験ひろば 世界遺産研究A グローバル社会と女性 グローバル人口移動論	世界遺産研究B 異文化間コミュニケーション 国際社会と法 国際関係学A 民族と宗教 グローバル都市論	国際関係学B 国際人権法 国際協力論 NGO・NPO研究	
	地域研究	地域研究総論 地誌 人文地理学 日本社会論 韓国社会論	地域環境論 現代日本と欧米 アメリカ社会論 アジアの社会と文化 旅行業務研究 観光ビジネス研究 観光文化論	ヨーロッパの社会思想 観光サービス論 観光サービス研究 グローバルスタディーズ特論	
	現代社会	社会学基礎論 政治学(平和と暴力) 日本史 外国史A マイノリティ論 社会調査の基礎	現代社会論 比較日本論A 自然環境論 心理学概説 法律学 外国史B 社会調査の技法 社会調査の実際	比較日本論B ヨーロッパ現代史 社会調査の応用	
	国際 ビジネス	経済のグローバル化(経済学) Business English A Business English B	アジア経済論 中国の社会経済 アメリカ経済論 国際ビジネス事情 国際開発論 Business English C Business English D 通関業務研究 貿易実務研究	国際経済学 世界経済 Business English E Business English F Global Issues A Global Issues B	
	女性 リーダー シップ	Integrated Skills A Integrated Skills B	WLI C WLI D リーダーシップ研究 Integrated Skills C Integrated Skills D	WLI E WLI F Integrated Skills E Integrated Skills F	
	広告 ビジネス	経営学総論 起業論 マーケティング論	インターネットビジネス論 ソーシャルビジネス論 簿記・会計(1) 簿記・会計(2) 経営管理論 市場調査論 広告論 広告コピー制作 CM制作	流通論 消費者行動論	
	マスコミ・ 映像	マスコミュニケーション論 メディア論	ジャーナリズム論 身体メディア論 自己表現技術 アナウンス技術A 映像コンテンツビジネス論	放送番組制作論 アナウンス技術B 映像論	
	デザイン	デザイン論 カラーコーディネート論 イラストレーション技術	Webデザイン技術A Webデザイン技術B CG論 アニメーション技術 デジタルコンテンツ制作技術 マルチメディア論	DTP技術 デジタルミュージック技術 3D-CG技術	
	情報技術	情報社会論 情報システム論 プログラミングA プログラミングB	情報技術論 情報ネットワーク論 情報処理論 プログラミングC 情報教育論 情報職業論 モデル化とシミュレーション	情報倫理論	
演習・卒業論文・ 卒業制作			国際情報演習(1) 国際情報演習(2)	国際情報演習(3)	国際情報演習(4) 卒業論文・卒業制作

国際情報学科

2 グローバルスタディーズコース 課程表

科目名の★印は必修、☆印は選択必修

基幹科目					
8単位必修					
科目名	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
国際情報概論★	501	2			
WLI A	501	1			
WLI B	501	1			
KIT (1)	501	1			
KIT (2)	501	1			
KIT (3)	501		2		
KIT (4)	502				2
海外キャリアトレーニング (1)	503		2		
海外キャリアトレーニング (2)	503			2	

展開科目					
①～⑤から42単位、⑥～⑨から12単位					
科目名	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
異文化体験ひろば☆	512	2			
世界遺産研究 A ☆	512	2			
世界遺産研究 B ☆	512		2		
異文化間コミュニケーション ☆	512		2		
国際社会と法 ☆	512		2		
国際関係学 A ☆	512		2		
国際関係学 B ☆	512			2	
民族と宗教 ☆	512		2		
国際人権法 ☆	512			2	
国際協力論 ☆	512			2	
NGO・NPO研究 ☆	513			2	
グローバル社会と女性 ☆	512	2			
グローバル人口移動論 ☆	512	2			
グローバル都市論 ☆	512		2		

展開科目					
科目名	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
地域研究総論 ☆	512	2			
地域誌 ☆	512	2			
人文地理学 ☆	512	2			
地域環境論 ☆	512		2		
現代日本と欧米 ☆	512		2		
日本社会論 ☆	512	2			
韓国社会論 ☆	512	2			
アメリカ社会論 ☆	512		2		
アジアの社会と文化 ☆	512		2		
ヨーロッパの社会思想 ☆	512			2	
旅行業務研究 ☆	513		3		
観光ビジネス研究 ☆	513		2		
観光文化論 ☆	512		2		
観光サービス論 ☆	512			2	
観光サービス研究 ☆	512			2	
グローバルスタディーズ特論 ☆	513			2	
社会学基礎論 ☆	512	2			
現代社会論 ☆	512		2		
比較日本論 A ☆	512		2		
比較日本論 B ☆	512			2	
政治学(平和と暴力) ☆	512	2			
法学 ☆	512		2		
日本史 ☆	512	2			
外国史 A ☆	512	2			
外国史 B ☆	512		2		
ヨーロッパ現代史 ☆	512			2	
自然環境論 ☆	512		2		
心理学概説 ☆	512		2		

展開科目						
科目名		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
③ 現代社会	マイノリティ論 ☆	512	2			
	社会調査の基礎 ☆	512	2			
	社会調査の技法 ☆	512		2		
	社会調査の実際 ☆	512		2		
	社会調査の応用 ☆	512			2	
④ 国際ビジネス	経済のグローバル化(経済学) ☆	512	2			
	アジア経済論 ☆	512		2		
	中国の社会経済 ☆	512		2		
	アメリカ経済論 ☆	512		2		
	国際ビジネス事情 ☆	512		2		
	国際経済学 ☆	512			2	
	世界経済 ☆	512			2	
	国際開発論 ☆	512		2		
	Business English A ☆	512	2			
	Business English B ☆	512	2			
	Business English C ☆	512		2		
	Business English D ☆	512		2		
	Business English E ☆	513			2	
	Business English F ☆	513			2	
	Global Issues A ☆	513			2	
Global Issues B ☆	513			2		
通関業務研究 ☆	513		3			
貿易実務研究 ☆	513		2			
⑤ 女性リーダーシップ	WLI C ☆	502	2			
	WLI D ☆	502	2			
	WLI E ☆	502			2	
	WLI F ☆	502			2	
	Integrated Skills A ☆	502	2			
	Integrated Skills B ☆	502	2			

展開科目							
科目名		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数				
			1年	2年	3年	4年	
⑤ 女性リーダーシップ	Integrated Skills C ☆	502		2			
	Integrated Skills D ☆	502		2			
	Integrated Skills E ☆	502			2		
	Integrated Skills F ☆	502			2		
	リーダーシップ研究 ☆	502		2			
	経営学総論 ☆	522	2				
⑥ 広告ビジネス	起業論 ☆	522	2				
	インターネットビジネス論 ☆	522		2			
	ソーシャルビジネス論 ☆	522		2			
	簿記・会計(1) ☆	522		2			
	簿記・会計(2) ☆	522		2			
	経営管理論 ☆	522		2			
	マーケティング論 ☆	522	2				
	市場調査論 ☆	522		2			
	広告論 ☆	522		2			
	流通論 ☆	522			2		
	消費者行動論 ☆	522			2		
	広告コピー制作 ☆	522		2			
	CM制作 ☆	522		2			
	⑦ マスコミ・映像	マスコミュニケーション論 ☆	522	2			
		メディア論 ☆	522	2			
ジャーナリズム論 ☆		522		2			
放送番組制作論 ☆		522			2		
身体メディア論 ☆		522		2			
アナウンス技術A ☆		522		2			
アナウンス技術B ☆		523			2		
自己表現技術 ☆		522		2			
映像コンテンツビジネス論 ☆		522		2			
映像論 ☆		522			2		

展開科目							
科目名	科目分類番号	開講基準年次及び単位数					
		1年	2年	3年	4年		
⑧ デザイン	デザイン論 ☆	522	2				
	カラーコーディネート論 ☆	522	2				
	イラストレーション技術 ☆	522	2				
	DTP技術 ☆	523			2		
	Webデザイン技術A ☆	522	2				
	Webデザイン技術B ☆	523	2				
	CG論 ☆	522	2				
	アニメーション技術 ☆	522	2				
	デジタルコンテンツ制作技術 ☆	522	2				
	デジタルミュージック技術 ☆	523			2		
	マルチメディア論 ☆	522	2				
	3D-CG技術 ☆	522			2		
	⑨ 情報技術	情報社会論 ☆	522	2			
		情報システム論 ☆	522	2			
情報技術論 ☆		522	2				
情報ネットワーク論 ☆		522	2				
情報処理論 ☆		522	2				
プログラミングA ☆		522	2				
プログラミングB ☆		523	2				
プログラミングC ☆		523	2				
情報教育論 ☆		522	2				
情報職業論 ☆		522	2				
情報倫理論 ☆	522			2			
モデル化とシミュレーション ☆	522	2					

演習科目					
必修6単位					
科目名	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
国際情報演習(1) ☆	502		1		
国際情報演習(2) ☆	502		1		
国際情報演習(3) ☆	503			2	
国際情報演習(4) ☆	503				2

卒業論文・卒業制作					
必修4単位					
科目名	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
卒業論文・卒業制作 ☆	503				4

3 メディアスタディーズコース 課程表

科目名の★印は必修、☆印は選択必修

基幹科目					
8単位必修					
科目名	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
国際情報概論★	501	2			
WLI A	501	1			
WLI B	501	1			
KIT (1)	501	1			
KIT (2)	501	1			
KIT (3)	501		2		
KIT (4)	502				2
海外キャリアトレーニング (1)	503		2		
海外キャリアトレーニング (2)	503			2	

展開科目					
⑤～⑨から42単位、①～④から12単位					
科目名	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
① 国際社会	異文化体験ひろば☆	512	2		
	世界遺産研究 A☆	512	2		
	世界遺産研究 B☆	512		2	
	異文化間コミュニケーション☆	512		2	
	国際社会と法☆	512		2	
	国際関係学 A☆	512		2	
	国際関係学 B☆	512			2
	民族と宗教☆	512		2	
	国際人権法☆	512			2
	国際協力論☆	512			2
	NGO・NPO研究☆	513			2
	グローバル社会と女性☆	512	2		
	グローバル人口移動論☆	512	2		
	グローバル都市論☆	512		2	

展開科目					
科目名	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
② 地域研究	地域研究総論☆	512	2		
	地誌☆	512	2		
	人文地理学☆	512	2		
	地域環境論☆	512		2	
	現代日本と欧米☆	512		2	
	日本社会論☆	512	2		
	韓国社会論☆	512	2		
	アメリカ社会論☆	512		2	
	アジアの社会と文化☆	512		2	
	ヨーロッパの社会思想☆	512			2
	旅行業務研究☆	513		3	
	観光ビジネス研究☆	513		2	
	観光文化論☆	512		2	
	観光サービス論☆	512			2
観光サービス研究☆	512			2	
③ 現代社会	グローバルスタディーズ特論☆	513			2
	社会学基礎論☆	512	2		
	現代社会論☆	512		2	
	比較日本論 A☆	512		2	
	比較日本論 B☆	512			2
	政治学(平和と暴力)☆	512	2		
	法 律 学☆	512		2	
	日 本 史☆	512	2		
	外 国 史 A☆	512	2		
	外 国 史 B☆	512		2	
	ヨーロッパ現代史☆	512			2
	自然環境論☆	512		2	
	心理学概説☆	512		2	

展開科目						
科目名		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
③ 現代社会	マイノリティ論 ☆	512	2			
	社会調査の基礎 ☆	512	2			
	社会調査の技法 ☆	512		2		
	社会調査の実際 ☆	512		2		
	社会調査の応用 ☆	512			2	
④ 国際ビジネス	経済のグローバル化(経済学) ☆	512	2			
	アジア経済論 ☆	512		2		
	中国の社会経済 ☆	512		2		
	アメリカ経済論 ☆	512		2		
	国際ビジネス事情 ☆	512		2		
	国際経済学 ☆	512			2	
	世界経済 ☆	512			2	
	国際開発論 ☆	512		2		
	Business English A ☆	512	2			
	Business English B ☆	512	2			
	Business English C ☆	512		2		
	Business English D ☆	512		2		
	Business English E ☆	513			2	
	Business English F ☆	513			2	
	Global Issues A ☆	513			2	
	Global Issues B ☆	513			2	
	通関業務研究 ☆	513		3		
貿易実務研究 ☆	513		2			
⑤ 女性リーダーシップ	W L I C ☆	502		2		
	W L I D ☆	502		2		
	W L I E ☆	502			2	
	W L I F ☆	502			2	
	Integrated Skills A ☆	502	2			
	Integrated Skills B ☆	502	2			

展開科目						
科目名		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
⑤ 女性リーダーシップ	Integrated Skills C ☆	502		2		
	Integrated Skills D ☆	502		2		
	Integrated Skills E ☆	502			2	
	Integrated Skills F ☆	502			2	
	リーダーシップ研究 ☆	502		2		
⑥ 広告ビジネス	経営学総論 ☆	522	2			
	起業論 ☆	522	2			
	インターネットビジネス論 ☆	522		2		
	ソーシャルビジネス論 ☆	522		2		
	簿記・会計(1) ☆	522		2		
	簿記・会計(2) ☆	522		2		
	経営管理論 ☆	522		2		
	マーケティング論 ☆	522	2			
	市場調査論 ☆	522		2		
	広告論 ☆	522		2		
	流通論 ☆	522			2	
	消費者行動論 ☆	522			2	
	広告コピー制作 ☆	522		2		
	C M 制作 ☆	522		2		
⑦ マスコミ・映像	マスコミュニケーション論 ☆	522	2			
	メディア論 ☆	522	2			
	ジャーナリズム論 ☆	522		2		
	放送番組制作論 ☆	522			2	
	身体メディア論 ☆	522		2		
	アナウンス技術A ☆	522		2		
	アナウンス技術B ☆	523			2	
	自己表現技術 ☆	522		2		
	映像コンテンツビジネス論 ☆	522		2		
	映像論 ☆	522			2	

展開科目						
科目名		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
⑧ デザイン	デザイン論 ☆	522	2			
	カラーコーディネート論 ☆	522	2			
	イラストレーション技術 ☆	522	2			
	DTP技術 ☆	523			2	
	Webデザイン技術A ☆	522	2			
	Webデザイン技術B ☆	523	2			
	CG論 ☆	522	2			
	アニメーション技術 ☆	522	2			
	デジタルコンテンツ制作技術 ☆	522	2			
	デジタルミュージック技術 ☆	523			2	
	マルチメディア論 ☆	522	2			
	3D-CG技術 ☆	522			2	
	⑨ 情報技術	情報社会論 ☆	522	2		
情報システム論 ☆		522	2			
情報技術論 ☆		522	2			
情報ネットワーク論 ☆		522	2			
情報処理論 ☆		522	2			
プログラミングA ☆		522	2			
プログラミングB ☆		523	2			
プログラミングC ☆		523	2			
情報教育論 ☆		522	2			
情報職業論 ☆		522	2			
情報倫理論 ☆		522			2	
モデル化とシミュレーション ☆	522	2				

演習科目						
必修6単位						
科目名		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
国際情報演習(1) ☆		502		1		
国際情報演習(2) ☆		502		1		
国際情報演習(3) ☆		503			2	
国際情報演習(4) ☆		503				2

卒業論文・卒業制作						
必修4単位						
科目名		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
卒業論文・卒業制作 ☆		503				4

大学編
履修案内
履修要項

大学編
学籍上の
諸手続き

大学編
教務事務の
取扱い

大学編
履修規程

学部編
ポリシー

学部編
卒業要件
単位数(詳細)

学部編
学科独自の
制度

学部編
科目分類番号

学部編
共通教育科目
等の課程表

学部編
専門教育科目の
カリキュラム(シリー
および課程表

学部編
教免取得に
関する
教育課程表

学部編
各種資格

1 中高免教職課程について

〔1〕教職課程とは？

中学校や高校で授業を行うためには教員免許状が必要です。その取得のために必要な科目を開講し、教職課程を設けています。教育職員免許法や教育職員免許法施行規則等に定められた単位を修得することで、卒業時に教員免許状を取得できます。

教職に関心がある学生は、1年次から「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」を履修してください。教職課程の申し込みは2年生の夏、教育実習の申し込みは3年生（薬学部は5年生）の春に行います。自信を持って教えられるように、教科と教職の両方の専門性を伸ばす努力をしてください。

本学の中高免教職課程を履修することにより授与される免許状の種類等は、次の通りです。私たち、中高免教職課程担当教員、職員は金城学院大学卒業生が一人でも多く、教育現場の教壇に立つことを願っています。

学 部	学 科		免許状の種類	免許教科
文学部	日本語日本文化学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	国 語 国 語 書 道
	英語英米文化学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英 語 英 語
	外国語コミュニケーション学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英 語 英 語
	音楽芸術学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	音 楽 音 楽
生活環境学部	生活マネジメント学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	家 庭 家 庭 情 報
	環境デザイン学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	家 庭 家 庭
	食環境栄養学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	家 庭 家 庭
国際情報学部	国際情報 学科	グローバル スタディーズコース	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社 会 地 理 歴 史 公 民
		メディアスタディーズコース	高等学校教諭一種免許状	情 報
人間科学部	現代子ども教育学科		中学校教諭一種免許状	英 語
	多元心理学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社 会 公 民
	コミュニティ福祉学科		高等学校教諭一種免許状	福 祉
薬学部	薬学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	理 科 理 科

〔2〕教職課程の履修に必要な単位

教育職員免許状を取得するためには、基礎資格として学士の資格を有することが必要です。つまり、所定の単位を修得して本学を卒業することが前提となります。

その上で、教職課程の履修には教育職員免許法施行規則に定める、次の4種類の科目の修得が必要です。最低修得単位数は教育職員免許法施行規則に定められた最低修得単位数であり、本学で修得しなければならない単位数については後掲の表を参照してください。

施行規則に定める科目区分等	最低修得単位数	
	中一種	高一種
①教科及び教科の指導法に関する科目	28	24
②教育の基礎的理解に関する科目等	27	23
③大学が独自に設定する科目	4	12
④教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	8	8
合計	67	67

①教科及び教科の指導法に関する科目

グローバルスタディーズコース／中学校一種（社会）

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目、開講基準年次及び単位数					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	必修科目		選択科目		学年	単位
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	28	日本史	1年	2	ヨーロッパ現代史	3・4年	2
			外国史A	1年	2			
	外国史B		2年	2				
	地理学（地誌を含む。）		人文地理学	1年	2	◎ 地域研究総論	1年	2
			地誌	1年	2	◎ 日本社会論	1年	2
						◎ 現代日本と欧米	2年	2
						◎ アメリカ社会論	2年	2
						◎ アジアの社会と文化	2年	2
						◎ 韓国社会論	1年	2
						◎ 自然環境論	2年	2
	「法律学、政治学」		政治学（平和と暴力）	1年	2	● 国際社会と法	2年	2
			法律学	2年	2	● 国際人権法	3・4年	2
						● 日本国憲法	1・2年	2
	「社会学、経済学」		経済のグローバルゼーション（経済学）	1年	2	○ 現代社会論	2年	2
			社会学基礎論	○ 社会調査の基礎	1年	2		
				○ 社会調査の技法	2年	2		
				○ 社会調査の実際	2年	2		
				○ 国際経済学	3・4年	2		
				○ アジア経済論	2年	2		
	○ 世界経済		3・4年	2				
「哲学、倫理学、宗教学」	哲学A	1・2年	2	キリスト教学(1)	1年	2		
	哲学B	1・2年	2	キリスト教学(2)	1年	2		
	倫理学A	1・2年	2					
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	社会科・地理歴史科指導法A	2年	2					
	社会科・公民科指導法A	2年	2					
	社会科・地理歴史科指導法B	2年	2					
	社会科・公民科指導法B	2年	2					

備考1：取得希望する免許教科の「○○科指導法」を履修方法に従い中一種においては8単位を履修しておくこと。後述の〔3〕を参照してください。

備考2：◎●○は、いずれか2単位を選択必修。

備考3：「日本国憲法」は「教免法施行規則第66条の6に定める科目」として必修。また、教科に関する専門的事項にも含まれます。

グローバルスタディーズコース／高等学校一種（地理歴史）

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目、開講基準年次及び単位数							
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	必修科目		学年	単位	選択科目		学年	単位
教科に関する専門的事項	日本史	24	日本史	1年	2					
	外国史		外国史A	1年	2					
			外国史B	2年	2					
			ヨーロッパ現代史	3・4年	2					
	人文地理学・自然地理学		人文地理学	1年	2			グローバル人口移動論	1年	2
			日本社会論	1年	2			グローバル都市論	2年	2
			地域環境論	2年	2					
			自然環境論	2年	2					
	地誌		地誌	1年	2			◎ アメリカ社会論	2年	2
			地域研究総論	1年	2			◎ アジアの社会と文化	2年	2
			現代日本と欧米	2年	2			◎ 韓国社会論	1年	2
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)			社会科・地理歴史科指導法A	2年	2					
			社会科・地理歴史科指導法B	2年	2					

備考1：取得希望する免許教科の「○○科指導法」を履修方法に従い高一種においては4単位を履修しておくこと。後述の〔3〕を参照してください。

備考2：「地誌」の科目区分においては、◎から4単位を選択必修。

グローバルスタディーズコース／高等学校一種（公民）

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目、開講基準年次及び単位数								
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	必修科目		学年	単位	選択科目		学年	単位	
教科に関する専門的事項	「法律学（国際法を含む。）、 政治学（国際政治を含む。）」	24	政治学（平和と暴力）	1年	2		国際人権法	3・4年	2		
			法律学	2年	2						
			国際社会と法	2年	2						
	「社会学、経済学 （国際経済を含む。）」		経済のグローバル化（経済学）	1年	2	●	社会調査の基礎	1年	2		
			社会学基礎論	1年	2	●	社会調査の技法	2年	2		
			現代社会論	2年	2	●	社会調査の実際	2年	2		
			国際経済学	3・4年	2	○	アジア経済論	2年	2		
	「哲学、倫理学、 宗教学、心理学」							○	世界経済	3・4年	2
			心理学概説	2年	2			キリスト教学(1)	1年	2	
			哲学A	1・2年	2			キリスト教学(2)	1年	2	
			哲学B	1・2年	2						
倫理学A		1・2年	2								
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)			社会科・公民科指導法A	2年	2						
			社会科・公民科指導法B	2年	2						

備考1：取得希望する免許教科の「○○科指導法」を履修方法に従い高一種においては4単位を履修しておくこと。後述の〔3〕を参照してください。

備考2：●○は、いずれか2単位を選択必修。

メディアスタディーズコース／高等学校一種（情報）

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目、開講基準年次及び単位数					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	必修科目		選択科目		学年	単位
教科に関する専門的事項	情報社会・情報倫理	24	情報社会論	1年	2	メディア論	1年	2
			情報倫理論	3・4年	2			
	コンピュータ・情報処理 (実習を含む。)		情報処理論	2年	2	情報技術論	2年	2
			プログラミングA	1年	2	プログラミングB	1年	2
	情報システム(実習を含む。)		情報システム論	1年	2			
			Webデザイン技術A	2年	2			
	情報通信ネットワーク(実習を含む。)		情報ネットワーク論	2年	2			
	マルチメディア表現・マルチメディア技術(実習を含む。)		マルチメディア論	2年	2	デジタルコンテンツ制作技術	2年	2
			モデル化とシミュレーション	2年	2	CG論	2年	2
			映像論	3・4年	2	CM制作	2年	2
				3D-CG技術	3・4年	2		
				アニメーション技術	2年	2		
				DTP技術	3・4年	2		
				デザイン論	1年	2		
情報と職業		情報職業論	2年	2	インターネットビジネス論	2年	2	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		情報科指導法	2年	4				

備考：取得希望する免許教科の「〇〇科指導法」を履修方法に従い高一種においては4単位を履修しておくこと。
後述の〔3〕を参照してください。

②教育の基礎的理解に関する科目等

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目	開講基準年次及び単位数				履修方法
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数		1年	2年	3年	4年	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	学校と教育の歴史	2				必修
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門	2				必修
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育社会学		2			必修
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		発達と学習	2				必修
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育の理論と方法		2			必修
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論			2		必修
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中10 高8	道徳教育の理論と方法			2		中免のみ必修。 高免においては選択。
	総合的な学習の時間の指導法(中免) 総合的な探求の時間の指導法(高免)		総合的な学習の時間の指導法		2			必修
	特別活動の指導法		特別活動の指導法			2		必修
	教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育の方法及び情報通信技術の活用		2			必修
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		生徒・進路指導とキャリア教育の理論と方法			2		必修
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談		2			必修
教育実践に関する科目	教育実習	中5 高3	教育実習A				5	教育実習Aは中免のみ必修。 高免は教育実習A、Bのいずれか1科目必修。 いずれも事前事後指導1単位を含む。
			教育実習B				3	
	教職実践演習	2	教職実践演習(中高)				2	

備考1：教育実習以前に、「教育実践に関する科目」を除く「教育の基礎的理解に関する科目等」の必修科目を履修しておくこと。

備考2：後述の〔3〕を参照してください。

③大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目	開講基準年次及び単位数				履修方法
科目区分	単位数		1年	2年	3年	4年	
大学が独自に設定する科目	中4 高12	道徳教育の理論と方法			2		備考2
		情報教育論		2			

備考1：教育職員免許法施行規則で定められた、免許状取得に必要な最低取得単位数を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」または「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位として使用することができます。ただし、他の免許教科のために設けられている「教科及び教科の指導法に関する科目」または「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位として使用することはできません。

備考2：「道徳教育の理論と方法」は、高一種においては選択。中一種においては、「大学が独自に設定する科目」の単位として使用することはできません。

④教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

施行規則に定める科目区分等	単位数	左記に対応する開設授業科目	開講基準年次及び単位数				履修方法
			1年	2年	3年	4年	
日本国憲法	2	日本国憲法	2				必修
体育	2	スポーツ・アンド・エクササイズ講義		1			必修 これら 7科目より 1科目 選択必修
		スポーツ・アンド・エクササイズA	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズB	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズC	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズD	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズE	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズF	1				
外国語 コミュニケーション	2	英語コミュニケーションA(1)	1				必修
		英語コミュニケーションA(2)	1				
数理、データ活用及び 人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	2	WLI A	1				必修
		WLI B	1				

〔3〕教育実習

教職に関する科目の一つである教育実習は、教育現場における体験を通じて、教育についての深い理解と強い熱意をつちかい、真によき教育者としての素地をつくることを目的として行われます。実習生は、実際に教壇に立つとともに、生徒へのさまざまな指導、学級の経営と管理、校務などの実習を行います。

教育実習に関しては、次の点に注意してください。

- (1) 中学校免許取得のためには、「教育実習A」5単位（実習は原則として3週間4単位と事前・事後指導1単位）、高等学校免許取得のためには、「教育実習B」3単位（実習2週間2単位と事前・事後指導1単位）または「教育実習A」5単位のいずれかの履修が必要です。
- (2) 教育実習は、原則として中学校または高等学校、あるいはその両方です。いずれの場合も中学校・高等学校のすべての免許取得のための教育実習として有効です。
- (3) 複数の教科の免許を取得しようとする場合にも、実習はいずれかの教科で1回行えば十分です。
- (4) 教育実習は、実習校の協力を得て行われるものです。実習生は、実習校に迷惑をかけることのないよう、しっかりした決意と十分な配慮をもって取り組まなくてはなりません。
- (5) 教育実習に先立って、教育実習申込みオリエンテーションを行います。このオリエンテーションで教育実習についての認識を深め、慎重に検討した上で教育実習を希望する者は、所定の期間内に必要な書類を添えて履修支援センターに申し込んでください。ただし、下記「3. 教職課程委員会が指定する課題に関する条件」の①を満たさない者は教育実習申込みを行うことはできません。
- (6) 教育実習期間の前後に数回の事前・事後指導を行います。また、教育実習後には、所定のレポートを提出しなければなりません。教育実習の履修には、事前指導・事後指導への出席とレポートの提出も含まれます。
- (7) 教育実習は教員を志す者にのみ認められます。教育実習を希望する者は、教員採用試験（愛知県・名古屋市など）を受験することを原則とします。実際に、中学校・高等学校が実施する事前指導で、教員採用試験を受けない学生は実習をとりやめるように言われたケースがあります。また、採用試験に欠席した学生が出た場合、教育委員会から、電話やFAXで欠席した理由の説明を求められることがありますので必ず受験してください。さらに、教育実習や教員採用試験の時期は企業などへの就職活動の時期と重なりますが、企業などへの就職活動についての配慮はいっさい認められません。実習先の先生や生徒に迷惑をかけることが無いよう、教育実習を最優先させてください。
- (8) 教育実習の際に必要な知識を習得しておくために、教育実習の履修以前に、「教育実践に関する科目」を除く「教育の基礎的理解に関する科目等」の必修科目をすべて履修していなければなりません。また、取得希望する免許教科の「〇〇科指導法」を、中一種においては8単位、高一種においては4単位を履修していなければなりません。なお、教育実習への準備を十分に行うために高校の教員免許状取得では選択となっている「〇〇科指導法BまたはC」も全て履修することを強く推奨します。
- (9) 教育実習では実際の授業の場で生徒に指導するため、十分な力量を備えて実習に臨む必要があります。本学では、以下に示す1.「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」と「教育の基礎的理解に関する科目等」に関する条件、2.「教科に関する専門的事項」に関する条件、3. 教職課程委員会が指定する課題に関する条件のすべてを満たす場合に教育実習の履修を認めることにしています。

なお、オリエンテーション、事前指導、課題等への取り組みや履修カルテ等によって教育実習に向けた準備状況から、教育実習に向けた準備が不十分であると判断された学生には学科のアドバイザー教員や教職課程担当教員から、改善を促すことがあります。改善が見られない場合は履修を認めないこともあります。

1. 「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」と「教育の基礎的理解に関する科目等」に関する条件

次のいずれかを満たすこと。

- ① 原則として、教育実習履修前年度終了時まで、「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」と「教育実践に関する科目」を除く「教育の基礎的理解に関する科目等」の必修科目をすべて履修し、かつ、18単位以上取得していること。ただし、「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」は、

教育実習で担当する科目に関するもののみをこの条件の対象科目とする。

- ② キャリアアップ講座が実施する教員採用試験模試の「教職科目」（教職教養等の名称）の試験の得点が50%以上の結果を、一度以上得ていること（ただし自宅受験した場合の成績は対象としない）。

* 留学等によって、①の条件を満たすことができない学生は次のように対応する。留学へ行く場合は、4年次（薬学部6年次）卒業までに、教員免許状取得に必要な単位をすべて取得できる見込みがある場合にのみ、4年次（薬学部6年次）における教育実習履修を認めることとする。その際、原則として教育実習履修前年度末までに、「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」と「教育実践に関する科目」を除く「教育の基礎的理解に関する科目等」を6科目以上履修し、12単位以上（〇〇科指導法Aまたは〇〇科指導法の単位を含む）を取得していることを条件とする。

2. 「教科に関する専門的事項」に関する条件

次のいずれかを満たすこと。

- ① 教育実習前年度終了時点における教育実習で担当する科目の「教科に関する専門的事項」のGPAが2.5以上であること。
- ② キャリアアップ講座が実施する教員採用試験模試の「専門科目」（教育実習で担当する科目）の得点率が50%以上の結果を一度以上、得ていること（ただし自宅受験した場合の成績は対象としない）。
- ③ 教科の専門的知識・技能があると認められる資格等を大学入学後に取得していること。
- 英語：英検2級以上、TOEIC 500点以上、TOEFL 470点（iBT 50点）以上、またはこれらと同等以上の資格のいずれか
- 家庭：消費者力検定「応用コース」3級以上
- 情報：ITパスポート試験、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、マルチメディア検定エキスパートのいずれかに合格していること
- 音楽：音楽芸術学科が主催する定期演奏会の出場経験、またはそれと同等以上と認められる演奏会への出場経験
- 理科：薬学共用試験に合格していること
- その他、各学科から提案のあった資格、入賞経験等を有し、教職課程委員会が認めた場合。

* 学内模試を受験できない等の事情がある編入生・科目等履修生は、課題に取り組みせた上で、学力確認試験等を実施して、教育実習履修の可否を判断するものとする。

* 科目等履修生は、「教科の専門的知識・技能があると求められる資格等」は科目等履修生を始める前に取得した資格等も対象とする。

* コミュニティ福祉学科の学生は、2年前期終了時のGPAが2.5以上あり、3年次に「ソーシャルワーク実習」ならびに「ソーシャルワーク実習指導(3)(4)」の単位を取得していることも条件とする。

3. 教職課程委員会が指定する課題に関する条件

- ① 教育実習の申込みは、申込み前年度の3月末までに当該学年の秋課題を提出していることを条件とする。
- ② 教育実習の履修は、前年度の1月第2火曜日（成人の日の翌日）までに当該学年の秋課題までの課題のすべてを提出していることを条件とする。

* 留学をする学生、編入生、科目等履修生の課題の内容や提出期限は、留学する時期や教育実習の履修予定年を考慮して担当教員から指示する。

〔4〕「介護等体験」について

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」により、中学校教諭の免許状を取得しようとする場合に、特別支援学校および社会福祉施設等で7日間以上にわたる「介護等体験」を行うことが必要です。大学が斡旋する施設等に行って所定の活動を行う必要があります。大学による斡旋は、3年次に行く予定です。説明会等を2年次から行いますので注意してください。ただし、介護等に関する専門知識等を有する者や障害により介護等体験が困難な者は、免除される場合がありますので、履修支援センターで相談してください。

なお、3年次の夏休みを中心とした時期に介護等体験の予定が入りますが、原則として、正式な授業と認められるもの（例：集中講義、幼稚園教育実習、病院及び薬局実務実習など）及び、学科の専門領域と密接に関連があり、かつ、教育実習に向けた準備の上でも有益であると考えられる学科主催の公式行事である場合、また、履修要覧で定めている「欠席」とみなさない場合の条件、大学9頁〔5〕②eに該当する可能性があり、「配慮すべき日数」が数日に留まるもの場合には日程調整を行います。日程が明確となっている場合は、所定の期日までに申告してください。

なお、「配慮すべき日数」が数日に留まるものうち当該学科からの要請によって教職課程委員会が承認した場合は、決められた期日までに申し出たことにより日程調整を行うことがあります。学科の行事等が予定されている場合は自学科の教員と自学科担当の教職課程担当教員に相談してください。

ただし、施設や学校の受け入れ側の都合で、希望に添う日程に調整することは保証できませんので、ご承知ください。

〔5〕教職課程関係の連絡とスケジュール

教職課程の履修に関しては、教育実習、介護等体験、教員免許状の申請、各種オリエンテーションなど、さまざまな手続きが必要です。これらについての連絡はK-PORT(学生ポータルサイト)・manaba等によって行いますので、教職課程の履修を希望する者は常に注意してください。なお、教職課程に関する質問や相談は、履修支援センターで受け付けます。

教職課程に関して、4年間の主なスケジュールは次の通りです。

1年次	4月	教職課程ガイダンス（新入生オリエンテーション内）
2年次	7月	教職課程履修申込みオリエンテーション（履修希望者全員）
	7月～9月	介護等体験申込みオリエンテーション（中学校免許状取得希望者）
	11月	教員採用試験オリエンテーション
	12月	学内模試（各自申込） 教員採用試験対策講座
3年次	4月	教育実習履修（次年度）申込みオリエンテーション及び介護等体験日程調整
	4月・5月	学内模試（各自申込）
	5月～6月	教育実習希望校への内諾依頼
	7月～	介護等体験事前指導（全2回）
	8月～12月	介護等体験
	8月～9月	私学適性検査（各自申込）
	9月	第1回教育実習事前指導
	11月～12月	教員採用試験オリエンテーション
	12月	学内模試（各自申込） 教員採用試験対策講座

4年次	4月～5月	第2～7回教育実習事前指導
	4月・5月	学内模試（各自申込）
	5月中旬	愛知県・名古屋市・岐阜県・三重県教育委員会採用試験説明会
	5月～6月	教育実習A（原則として3週間）、教育実習B（2週間） *一部の学校では9月～10月になります
	7月上旬	教育実習事後指導
	7月中旬	教員採用試験・一次試験（愛知県・名古屋市 他全員受験）
	8月	教員採用試験・二次試験（愛知県・名古屋市 他）
	8月～9月	私学適性検査（各自申込）
	9月	教員免許状一括申請学内申込み
	11月	教員免許状申請書類記入
	3月（学位記授与式当日）	免許状交付

<教員採用試験模擬試験>

本学では、中高免教職課程において教育実習を行う者は、教員採用試験を受験することを原則とします。これは教育委員会から、教育実習の受け入れ条件として教員になる希望を持って、採用試験を受験することが条件として示されているためです。この条件は、教育現場において授業を担当する以上、しっかりとした専門的な知識技能と教職への希望を持って子どもへの指導にあたって欲しいという教育現場からの声を反映させたものであると本学では理解しています。そのため、2年次12月から4年次5月にかけて、キャリア・アップ講座に設けられている模擬試験（学内模試）を受験することを推奨しています。教員採用試験は、試験範囲が広く、長期的な展望を持って準備しないと、合格は容易ではありません。長期的な学習計画を立て、模擬試験をペースメーカーとして、教育実習と採用試験に備えてください。

注1）教員採用試験対策講座受講者は、専門科目の模擬試験を受験できます。詳しくはキャリア・アップ講座の窓口にお問い合わせください。

<教員採用試験>

公立中学校・高等学校の教員採用試験は、毎年夏に行われます。前述のように、本学では、教員採用試験の受験を教育実習を行うための条件にしています。また、多くの教育委員会で、教育実習の期間前や期間中に教員採用試験受験申し込み締め切りを設定しているため、教育実習前に教員採用試験の受験申し込みを済ませてください。なお、私学の教員採用については、応募や試験の形態が様々であるため、私学教員を志す場合は、各自で情報収集をするとともに、各学部・各学科担当の教職課程委員の教員に相談をしてください。

<教員免許状の申請>

教員免許状の申請は、大学が一括して愛知県教育委員会に対して行います。4年次の9月に申請手続きを履修支援センター窓口で行います。なお申請時に手数料が別途必要です。期限内に手続きをしない場合は、一括申請から除外されますので、行事予定やK-PORTを十分に注意し、指示に従ってください。

〔6〕課程履修費等について

本課程を履修するには学納金とは別に課程履修費等が必要です。課程履修費は、2,500円（3年次前期）、16,600円（4年次前期）です。なお、実習の際には学研災付帯賠償責任保険料210円が必要です。

また、中学校教諭の免許状取得希望者は、介護等体験履修費として11,000円（3年次前期）、実習の際には学研災付帯賠償責任保険料210円が必要です。

納入方法は学納金口座からの引き落としとなります。引き落としに際しては事前にご案内致します。



**UNIVERSITY
ACCREDITED
2022.4～2029.3**

本学は、2014年度に実施された公益財団法人大学基準協会による大学評価(認証評価)を受けた結果、大学基準に適合しているとの認定を受けました。このマークは、それを証するものです。

公益財団法人大学基準協会とは：

1947年に、「内外の大学に関する調査研究を行い、会員の自主的努力と相互的援助によって、わが国における大学の質的向上を図るとともに、大学教育の国際的協力に貢献することを目的とする。」として創設された、国・公・私立の大学を会員校とする団体で、2015年度現在正会員として352校が加盟しています。

履 修 要 覧

2023年度

2023年4月 発行

編集／発行 金城学院大学履修支援センター
〒463-8521 名古屋市守山区大森二丁目1723番地
TEL (052) 798-0180
URL <http://www.kinjo-u.ac.jp>